

平成 28 年度橋本市教育委員会第 4 回 E S D 連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤静男

- ◇開催日時 10 月 21 日(金) 18 時～20 時
- ◇会場 橋本市教育文化センター
- ◇参加者 辻脇・辻本 (橋本市教委)
堂本・上田・南・阪本・深 (三石小学校)、木村 (紀見小学校)
谷垣・田中・中澤 (奈良教育大学) 計 11 名
- ◇内容 E S D の事例分析

「地域を舞台にした ESD いのちをつなげる教育 2015-2016」に掲載されている事例の分析

1. 実践事例の分析

まず、全員で「奈良：「奈良の人とシカの共生を考える」 pp.36-41」の実践事例の分析を行った後、2つのグループに分かれて

- 大阪：「淀川から繋がる魚庭 (なにわ) の海を考える 枚方市立招提小学校の実践の分析
 - 兵庫：「逆瀬川たんけん～逆瀬川のふしぎ発見！～」宝塚市立西山小学校の実践の分析
- の事例分析を行い、具体的な実践をもとに、E S D の授業展開をイメージした。

(1) 分析方法

実践で評価できるポイントを「ESD の視点」「ESD の能力」「ESD の価値観」について、それぞれ 1～2つ挙げる。

- ①この実践で学ぶことができる「ESD の視点」
- ②この実践で身につく「ESD で育てたい能力」
- ③この実践で養うことができる「ESD の価値観」

(2) この実践の改善ポイントを1つ挙げる。



2. E S D の理論研修の振り返り

前回までの E S D の理論研修において学んだことをもとに、次期学習指導要領と E S D の関わりを検討し、E S D の学習指導案の様式について理解していただいた。

(1) ESD の視点

	対 象	要素について	作用について	傾向について
実態概念	自然環境・社会環境	多様性	相互性	循環性
規範概念	人や集団の行動や意思決定	公平性	連携性	責任性

(2) ESD で育てる能力

- ・クリティカル・シンキング（批判的思考力・代替案の思考力）
- ・システムズ・シンキング（多面的・総合的思考力）
- ・データや情報を分析し、未来を考える力（長期的思考力）
- ・コミュニケーション力
- ・協働的行動力（ESD の目的は行動の変革であるので、新しく加えた）

(3) ESD で育てる価値観

- ・公平性：世代間・世代内の公正、人権・文化の尊重、環境配慮、多様性の尊重
- ・連携性：協力する態度、つながりの尊重、非排他性、機会均等
- ・責任性：進んで参加する態度、リーダーシップの向上

3. 次期学習指導要領と関わっての ESD 指導案の様式について

(1) 次期学習指導要領のポイント：◇資質能力の三つの柱

①知識・技能「何を知っているか、何ができるか」

基礎的基本的な知識・技能だけでなく、それらを組み合わせた汎用性のある知識・技能の習得

②思考力・判断力・表現力等「知っていること・できることをどう使うか」

協働的問題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等

必要な情報の収集・選択・分析に必要な判断・意志決定

伝える相手や状況に応じた表現力

③主体的に学習に取り組む態度

学びに向かう力や自己の感情や行動を統制する能力（メタ認知）

多様性を尊重する態度、協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップ等

(2) 次期学習指導要領の評価の3つの観点と ESD について

知識・技能：ESD の視点

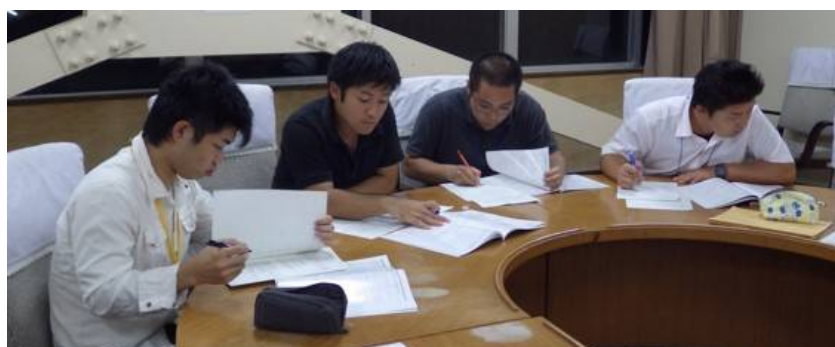
思考・判断・表現：ESD で育てたい能力

主体的に学習に取り組む態度：ESD で育てたい価値観

○思考・判断・表現が ESD で育てたい能力に該当するのは理解できる

○知識・技能がこれまでの知識と技能を集めたものではないことに注意を要する。次期学習指導要領での知識・技能は個々の知識・技能だけでなく、それらを組み合わせてつくる汎用性のある知識・技能であり、それは事例のとらえ方の概念的枠組みである。換言すれば「見方・考え方」であることから、ESD の視点に該当する。

○主体的に学習に取り組む態度の「学習」を「社会」に置き換えると、ESD で育てたい価値観に該当する。



4. ESD 学習指導案の様式

作成する指導案は、総合的な学習だけでなく、教科や道徳等でのけっこうです。

(1) 単元名

(2) 単元の目標

教科であれば教科の目標を書きます。ESD に関する目標は書きません。

(3) 単元について

- ・教材観（取り上げる教材のよさ・価値、ESD を考慮した教材のとらえ方）
- ・児童観（本単元に関する事前の評価・アンケート結果）
- ・指導観（評価観を含む）（指導上の工夫・方針、ESD を考慮した指導方法）
- ・ESD の観点（ESD から見たときに学ぶことができる ESD の視点、育てることができる能力や価値観（態度）について書きます。ESD を考慮した指導方法や教材のとらえ方と、若干重なってもけっこうです）

(4) 評価規準

評価規準は3観点で

知識技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(5) 単元展開の概要（全○時間）

主な学習活動	学習への支援	◇評価 ・ 備考
1.		
2.		
3.		

※本時案はいりません。

※評価は 1 時間で 1 つまでです。複数の評価は現実的ではありません。その授業の中心についてのみ、評価してください。

※次回は、12月16日（金）18時30分～ です。

各時、教科や領域は問いませんので、ESD の学習指導案を作成し、15 部印刷して持参してください。